

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 1 区分
【発行日】 令和 7 年 3 月 27 日 (2025.3.27)

【国際公開番号】 WO2024/085121
【出願番号】 特願 2024-551800 (P2024-551800)
【国際特許分類】

H 0 1 M 50/46(2021.01)
H 0 1 M 50/494(2021.01)
H 0 1 M 50/489(2021.01)
H 0 1 M 10/04(2006.01)
H 0 1 M 10/052(2010.01)
H 0 1 M 10/0585(2010.01)
H 0 1 M 10/0587(2010.01)

10

【F I】

H 0 1 M 50/46
H 0 1 M 50/494
H 0 1 M 50/489
H 0 1 M 10/04 Z
H 0 1 M 10/04 W
H 0 1 M 10/052
H 0 1 M 10/0585
H 0 1 M 10/0587

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 1 月 16 日 (2025.1.16)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更

30

【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

正極と、負極と、フィルム状のセパレータと、を有する電極組立体を備える電池であって、

前記電極組立体の形状は、扁平形状であり、

前記電極組立体の最も短い方向を第 1 方向とした場合、前記セパレータは、少なくとも前記第 1 方向に厚さを有し、前記正極と前記負極との少なくとも前記第 1 方向の間に設けられ、

前記第 1 方向に平面視して、前記セパレータの互いに対向する辺同士の間隔が最小になる方向を第 2 方向、前記第 1 方向及び前記第 2 方向に垂直な方向を第 3 方向とした場合、前記第 1 方向に平面視して、前記セパレータの引張強度が最小になる方向と前記第 2 方向となす角は、前記セパレータの引張強度が最小になる方向と前記第 3 方向となす角より大きく、

40

前記第 1 方向に平面視して、前記セパレータの前記第 2 方向の長さに対する、前記セパレータの前記第 3 方向の長さの比が、2.0 以上である、電池。

【請求項 2】

前記セパレータの引張強度が最小になる方向は、前記第 3 方向に沿う方向である、請求項 1 に記載の電池。

【請求項 3】

50

前記セパレータは、前記第 1 方向に平面視して、前記第 2 方向に平行な短辺と、前記第 3 方向に平行であって前記短辺より長い長辺とを有する、請求項 1 又は 2 に記載の電池。

【請求項 4】

前記電極組立体は、前記セパレータを介して、前記正極と、前記負極とが前記第 1 方向に積層された電極積層体である、請求項 1 又は 2 に記載の電池。

【請求項 5】

前記電極積層体は、複数のセパレータを有し、

前記複数のセパレータは、引張強度が最小になる方向が全て同じである、請求項 4 に記載の電池。

【請求項 6】

前記電極組立体は、前記セパレータを介して、前記正極と、前記負極とが積層され巻回された電極巻回体である、請求項 1 又は 2 に記載の電池。

【請求項 7】

前記セパレータの引張強度が最小になる方向の前記セパレータの引張強度に対する、前記セパレータの引張強度が最小になる方向に垂直な方向の前記セパレータの引張強度の比が、1.05 以上である、請求項 1 又は 2 に記載の電池。

10

20

30

40

50